

パブリックコメントで提出されたご意見及び市の考え方について

■募集案件の概要

募集案件	大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）（素案）に対する意見募集について
募集期間	令和7年2月7日（金）から令和7年2月28日（金）まで
意見者数	3件（2名）

No.	意見の概要（原文のまま）	回答（市の考え方）
①	「ごみの分別に関する情報発を通じて、市民のごみの分別意識の向上を図るとともに、現在のプラスチック製容器包装に加えて、家庭から排出される様々なプラスチックごみの分別回収・リサイクルの実施に向けて、新たな収集体制を検討します。」と計画立案されていますが、現在プラスチック製品は燃えるゴミとして回収されています。 プラスチックゴミが少なくなり地球温暖化防止として環境配慮されていると思いますが、今の世間ではまだプラスチック製品が多く自分の家もプラスチックがおおく排出されています。 私の意見としては、プラスチック回収日を作り、プラスチックをリサイクル製品として使用するのはどうでしょうか。 富田林などの他の地域ではプラスチック回収日が設けられてます。 環境対策のため検討よろしくをお願いします。	ご意見ありがとうございます。 P47「基本施策4 循環型社会への転換」にてお示ししておりますとおり、ごみの分別細分化により、さらなるごみの再生利用を促進してまいります。
②	狭山池では年に数回、池周りの草本の伐採がおこなわれていますが、伐採される量はかなり多いと思われます。 伐採物は業者に処理を委託し、市はほとんど関与していないと聞きました。 下に示すように結構大きな量の二酸化炭素固定がされているのではないかと思います。 炭素固定の観点から伐採物の対応を見てみると地球温暖化対策に貢献出来るのではないですか？ AIの回答です 「自然の温帯高原では、1平方メートルあたりの年間の二酸化炭素純固定量は約0.23kg炭素です。この値は、植物が光合成によって吸収するCO2の量から、植物の成長や維持に使用される量を差し引いたものです。」	ご意見ありがとうございます。 「炭素固定」が地球温暖化防止対策に貢献できるものとして注目されていることは認識しておりますので、参考とさせていただきます。
③	狭山池の年間の放水量も結構大きいのではないかと思います。池西側の放水路に小規模発電設備をつけることはできないでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 再生可能エネルギーの利活用につきましては、P41「基本施策2 再生可能エネルギーの導入拡大」にてお示ししておりますが、ご提案内容につきましても、地球温暖化防止対策のひとつとして、参考とさせていただきます。